

# 2015 そうじゃ吉備路マラソン

そうじゃ吉備路マラソンが2月22日、総社市スポーツセンター周辺を発着点に開催され、1万7274人のランナーが吉備路を駆け抜けました。

今大会はフルマラソン、大黒天物産コース（ハーフマラソン）、フレヴァンコース（10km）、もっと自分らしく☆キャリアプランニングコース（5km）、おいしそうじゃ！モンテールコース（3km）、カラダにピース☆「カルピス」ファミリーコース（1.5km）とリブックくんわくわくファミリーコース（800m）の5種目2イベントで開催。ランナーは歴史ロマンあふれるコースを快走していました。

ボランティア 過去最多の  
2023人!!



イメージソングで応援



大会イメージソング「a walk in the life」を歌うロックバンド、ゴーストノートが来場。清音柿木出身の大平伸正さんをはじめメンバーが熱い歌声と演奏を披露し、ランナーを鼓舞しました。

歌

仙台市との絆



仙台国際ハーフマラソン大会と連携協定を結んでいることから、仙台市立六郷中学校の生徒4人を招待。生徒は「最後まで諦めずに力強く走ることを誓います」と宣誓しました。また、伊藤敬幹仙台市副市長がフル・ハーフのスターターを務めました。

前日祭では、六郷中学校の生徒と仙台国際ハーフマラソンに出場予定の総社西中学校の生徒がエール交換し、交流を深めました。

絆

招待選手・チームも快走

今大会の招待選手は、天満屋女子陸上競技部の谷本観月選手。谷本選手は1.5kmと800mのファミリーマラソンに出走。子どもの手を取りながらいっしょに走り、参加者を元気づけていました。

全国高校駅伝競走大会に出場した倉敷高校男子陸上競技部と興譲館高校女子陸上競技部も招待。躍動的な走りで大いに盛り上げてくれました。



走

お礼



開催にあたり、市民の皆さまには準備や運営、沿道警備、給水、駐車場といったボランティアとして、また沿道からの応援、物的な支援や盛り上げなどにご協力いただき、深く感謝申し上げます。

また、交通規制ではご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

大会長 片岡聡一



歴史回廊を駆ける